

感染警戒レベル引き下げを受けて 市長メッセージ

昨日、国の緊急事態宣言等が終了し、本県においても県独自の感染警戒レベルが「4」から「3」に引き下げられました。これを受けて、秋田市危機管理対策本部会議を開催し、「市が主催するイベントの中止または延期」、「市が所管するトレーニングルームや子ども広場等の休止」、「屋外におけるバーベキューなど大人数での飲食の禁止」などについて、本日から順次解除することといたしました。

8月11日に感染警戒レベルが引き上げられて以降、本市では、県外との不要不急の往来自粛や、マスクの着用、手洗いといった基本的な感染対策、大人数での会食を控えるなど、これまで以上に感染対策を徹底していただくよう呼びかけてまいりました。また、県外の方との接触等、感染が心配な場合は、市役所1階の「新型コロナPCR検査センター」を利用するなど、万全の注意をしていただくようお願いしてきたところであります。

こうした中、8月の新規感染者数は、279人と月別で過去最多を更新しましたが、市民の皆様のご理解とご協力により、9月に入ってから減少傾向となり、9月20日には約2か月ぶりにゼロを記録するなど、これまでの感染拡大防止の取組による一定の効果があつたものと捉えております。

今後は、リバウンドの防止やブレイクスルー感染を回避するため、マスクの正しい着用、換気、手洗い・うがい等の基本的な対策に加え、飲食の際は、屋内外にかかわらず、「長時間を避け」、「なるべく普段一緒にいる人」と「マスク会食」を行うとともに、イベントの際は、参加人数に応じた席の配置や換気の徹底などにより、感染リスクの回避に引き続き留意していただくようお願いいたします。

また、新型コロナウイルスのワクチン接種については、これまで国から示されるワクチンの供給量に応じて予約を受け付けてまいりましたが、9月17日時点で予約枠が全て埋まり、皆様には大変ご不便をおかけしております。

これまでの予約状況を見ますと、既に接種した方を含め対象者全体の予約率が70%を越えているものの、40歳未満は55%程度であり、現状では希望する方々にワクチン接種が行き届いていない状況にあります。本日、国から、県を通じてモデルナ社のワクチン約1万2千人分を供給する旨の回答がありました。今後、できるだけ速やかに予約再開をお知らせしたいと考えております。

引き続き、希望している全ての市民が一日も早く接種できるよう努めてまいりますので、大変申し訳ありませんが、今しばらくお待ちいただきますよう、よろしくお願いいたします。

令和3年10月1日 秋田市長 穂積 志